

広報たかなべ

2013. 1. 18 NO. 380



- 新年のごあいさつ
- 『縁起のよい町』
- 平成25年 高鍋町成人式
- ～伝わり、つながる人の温かさ～
絵本の読み聞かせの世界
- 「自分たちの町は自分たちで守る」
消防団活動
- 納税について考える
- 人が集う四季彩のむら ～この1年とこれから～
- 《姉妹都市交流》「鷹山塾」に参加
- まちの話題
- わが町の宝物

「お母さんが読んでくれる絵本♪」
(高鍋町健康づくりセンターで)

『縁起のよい町』

「高鍋はとても縁起のいいところだ」～高鍋町にゆかりのあるチームの方から以前いただいた言葉です。そして、うれしいニュースが届けられました。今年も高鍋町が皆さんにとって「縁起のよい町」になりますように！



部員の意識が高く、それぞれで体重増加などにも努めてきました。キャプテンとして自ら声を出し、体を張って、チームの雰囲気づくりを心がけています。予選からプレッシャーがありましたが、全国大会では挑戦者の気持ちで全力で臨みます。



高鍋高校ラグビー部は、ほかの出場校チームと比べて体が小さいため、「速さとまとまり」の強化に努め、レベルアップしてきました。全国大会では、宮崎県代表として恥じないよう、全力でプレイしてきます。



鹿児島実業高校ラグビー部との練習試合

今回が二年連続二十回目の全国大会出場となった高鍋高校ラグビー部。強豪がそろった全国大会で戦う部員の姿は、二年前に起きた口蹄疫からの復興に向けて頑張っている私たち町民に、元氣と勇気を与えてくれました。これからのさらなる活躍を期待します！



日本一に輝いた桐蔭横浜大学硬式野球部の皆さん。粘り強い試合で、決勝では法政大学を1-0で下しての初優勝となった

優勝した当初は実感がありませんでしたが、周りの方々に祝っていただくことでだんだんと実感が湧いてきました。高鍋高校野球部時代の経験や、そこで培った技術が現在に生かされています。キャンプ時の、高鍋町の皆さんのサポートが力になっています。今後は、新チームの副キャプテンとして大会二連覇を目指して頑張っていきます！



桐蔭横浜大学硬式野球部副キャプテン 甲川 稔 選手 (高鍋高校出身)

2回戦まで勝った勢いで決勝に進んだ印象で、優勝してびっくりしています。甲川稔選手は、リーグ戦では首位打者を狙えるほど調子が良く、チームに貢献してくれました。寡黙で黙々と打ち込むタイプです。同じ高鍋高校出身の宮越晃規選手は、常に元気でチームを盛り上げてくれます。二人とも大変真面目です。キャンプ期間中は、高鍋町の皆さんが温かく迎えてくれて、良い雰囲気の中で練習することができます。皆さんの温かいご支援があり、日本一になることができました。毎年ありがとうございます。今年も3月に伺います！



桐蔭横浜大学硬式野球部 齊藤 博久 監督

見事優勝の栄冠をつかみました。春の全日本大学野球選手権大会とこの秋の大会を通じて、初めての全国制覇となった同野球部の齊藤監督と、高鍋高校出身でレギュラーとして活躍している三年生の甲川選手にインタビューを行いました。

桐蔭横浜大学硬式野球部 明治神宮野球大会 初優勝！

十二月二十七日に行われた初戦では、三重県代表の朝明(あさけ)高校と対戦。前半に先制しますが、後半に朝明高校のスピードある攻撃が始まり逆転されます。しかし、終盤に白石主将がペナルティゴールを決めるなど高鍋が粘りある姿を見せ、二十二対十九と逆転勝ちし、三大会ぶりに初戦を突破しました。十二月三十日に行われた第二試合は雨の中、茨城県代表の茗溪(めいけい)学園高校との対戦となりました。五対五十七という結果ではありましたが、シード校を相手に、後半にトライを決めるなど、気迫ある姿を見せてくれました。

高鍋高校ラグビー部 二年連続で全国大会出場！

十二月中旬、小丸河畔運動公園には若者たちの大きな声と、体と体がぶつかりあう音が響いていました。高鍋高校ラグビー部の部員たちが、間近に迫った「第九十二回全国高等学校ラグビーフットボール大会」に向けて必死に練習を行っていました。一つ一つの動きを丁寧に確認するような練習の中、部員たちの声以上にひと際通る声で、山本監督の指示が飛んでおり、それを部員たちは真剣な表情で聞いていました。緊迫した練習の後、山本監督と白石キャプテンにインタビューを行いました。二人とも笑顔で意気込みを話してくれました。

大会結果

昨年を振り返ってみますと、オリンピックでは「がんばろう日本」を合言葉に、柔道やサッカーをはじめとした女性選手の活躍により多くの感動と勇気・元気を頂きました。しかし、一方では長引く震災復興、欧州経済の危機、尖閣諸島に伴う日中関係の悪化、国民不在の決められない政治など、政治・経済・外交において大変厳しい一年であったと考えております。



新年のごあいさつ 高鍋町議会議長 山本 隆俊

本町においては、「南九州大 学跡地問題」「地震津波対策」「口蹄疫からの復興」など、さまざまな重要問題を抱えながらの一年であったと考えております。幸いにも台風をはじめとした自然災害が最少であったことは喜ばしい限りであります。さて、議員任期も折り返しを過ぎ「議会とは」「議員とは何か」を改めて自問自答すると

もに、「何か一つでも町民の皆様目に見えるように」との強い思いで、各種の催しへの積極的な参加や議会の活性化を図るべく努めて参りましたが、町民の皆様にはどのように映り、どう感じられたのか、心配するところでもあります。申すまでもなく議員の使命は、具体的な政策の最終決定と執行機関の行う業務を監視することであり、常に住民代表としての責務と役割を自覚し、活発な議会活動を通じて、新しい次代にふさわしい「町づくり」に、引き続き取り組んで参りたいと考えております。



今後とも、町民の皆様のご支援とご指導をお願い申し上げますとともに、本年が穏やかな良い年になりますよう、皆様方のご健康とご繁栄を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたしま



新年のごあいさつ 高鍋町長 小澤 浩一

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、町政の推進に当たりましては、日ごろから、温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、東日本大震災の復興

も未だ進まぬ中、昨年七月に発生した九州北部豪雨は、朝倉市をはじめ九州北部に大きな被害をもたらしました。被災された皆様に対し、改めて心よりお見舞いを申し上げます。このような度重なる災害に対し、日ごろからの防災への意識づけが最重要であると痛感したところがございます。昨年は本町におきましても、五月の津波避難訓練、六月の

土砂災害防災訓練、九月の防災訓練を多数の町民参加のもと、実施したところでございます。また、昨年五月に、大阪府において「近畿高鍋会」を設立していただきました。「近畿高鍋会」が、高鍋町と近畿地区との懸け橋となるよう期待しているところでございます。今後、近畿地区以外においても町人会設立に向けて支援

してまいりたいと考えているところでございますので、皆様方の積極的なご参加、ご協力をお願い申し上げます。本町の地域経済は、長引く景気低迷等により、非常に厳しい状況となっております。そのような中、高鍋町の町政運営の基本とした「高鍋町総合計画第五次基本構想」に基づき、住民参画による快速で美しいまち「たかなべ」の実現を目指し、さまざまな政策課題に全力で取り組んでいくところでございます。

しかしながら、社会経済情勢の急激な変化に対応し、施策を推進するためには、町民の皆様と行政とが一体となり、創意工夫をしながら取り組まなければなりません。どうか皆様方におかれましては、変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭にあたり、本年が皆様にとりまして、実り多き良い年となりますことを衷心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。





お祝いのラップ演奏を行った高鍋町消防団ラップ隊。指揮者の力強い、新成人に向けたエールに会場からは歓声が起った



祝宴の司会進行を担当した荒木香帆さん、小林梓穂さん(左から)



式典では高鍋手話サークルによる手話通訳が行われた



感謝の言葉を述べた脇本安希子さん



成人代表で成人証書を授与された小林梓穂さん



町民憲章を朗読した鞭馬由紀奈さん、大津絵梨香さん(左から)



式典の司会進行を担当した永友里枝さん、則松香名子さん(左から)



祝賀の催で津軽三味線を披露した恵利弘一さん



高鍋西中学校区ほかの皆さん



高鍋東中学校区の皆さん



成人おめでとうございます

平成二十五年 高鍋町成人式

一月五日、高鍋町中央公民館ホールで平成二十五年高鍋町成人式が行われました。今年は、百七十三人(男性七十七人、女性九十六人)が出席し、大人への第一歩を踏み出しました。当日は小雨が降ったり止んだりのあいにくのお天気でしたが、晴れ着姿の友人達と写真を撮り合ったり、同窓生との久しぶりの再会を喜び合う姿が見られ、会場は温かい雰囲気にも包まれていました。その後、厳粛に式典が始まりました。新成人を代表して、脇本安希子さんが「成人としての自覚や責任を持ち、社会に貢献できるよう、自分が今できる精一杯の努力をしていきたい」と感謝の言葉を述べました。人生の大切な節目を迎えた新成人の皆さん、これから大いに飛躍してください。



式典終了後に、エフエム宮崎制作の高鍋町のラジオ番組「fresh!!高鍋」のインタビューを受ける柳田さんと脇本さん。実行委員になった経緯や、20歳になってやってみたいことなどを話していた。この日の様子は、1月11日に放送された

皆さん、お疲れ様でした！

成人式実行委員会メンバー紹介！



(後列左から)大津絵梨香さん、荒木香帆さん、鞭馬由紀奈さん、中村詩織さん、永友里枝さん、則松香名子さん(前列左から)柳田佑佑奏さん、小林梓穂さん、黒木陽子さん、脇本安希子さん、長谷川麻衣さん



♪ 恩師からのビデオメッセージ

祝宴では、大人への仲間入りを祝う恩師からのビデオメッセージが流されました。小中学校時代の14人の恩師が次々に画面に映し出されると、出席者から拍手や歓声が上がりました。恩師達は当時の思い出をよく覚えており、新成人になった姿を想像しながら多くの言葉を伝えてくれました。「親、周囲の友達に感謝して」「出会い、縁を大切に」「成功や失敗を繰り返して、人生で大事な経験をする20代。失敗を恐れずにしっかりと土台を築いて」「目標を持つことで人は苦しむが、自らを信じ、前に進んでほしい」一言一言が出席者の胸に響いている様子でした。



絵本の読み聞かせの世界



高鍋東小学校で行われた「読書祭り」の様子。絵本を持ったボランティアの皆さんが3カ所に立ち、子どもたちは各自見やすい位置の絵本を見ている

「歴史と文教のまち」と言われている高鍋町。子どもがにぎわうまちづくりを目指して、子どもの育成、教育に力を入れていきます。これからの未来を担う子どもたちには、体だけでなく心も健やかに育ててほしいものです。

ボランティアによる活動

「うわあー」「すーい！」と子どもたちが目を輝かせ、時には拍手が起る視聴覚室。十一月三十日、高鍋東小学校ではボランティアの皆さんによる絵本の読み聞かせが行われました。読み聞かせが始まると子どもたちは絵本の世界に入り込み、物音一つさえずりに聞き入りました。お話に出てきた呪文の言葉を一緒に唱えたり「もつと見たい、見たい！」と口ぐちに言ってみたり・・・

日ごろのグループの活動は、朝自習や昼休みでの読み聞かせですが、年に一度、この祭りを挙げており、今年で五回目を迎えます。

この日のテーマは「絵本を楽しもう」でしたが、ボランティアの皆さんによる手づくりの絵本や、工夫した読み聞かせの手法で、子どもたちは十分に楽しんで様子で、最後に感謝の言葉を述べていました。

このグループの発起人である小夏美由紀さんは「十年前に、本を読む子どもが少なくなってきたと感じ、もつと本に触れてほしくてこのボランティアを始めました。夜、寝る前に五分でもいいので、本を読んであげると子どもは落ち着きます。その読んでもらった記憶が残っているものです。読み聞かせでは子どもと触れ合い、コミュニケーションをとることが大事です」と話しました。



手づくりのからくり絵本。イラストを返しながら、場面が展開していく



読み聞かせボランティアグループ「おはなしころりん」石崎とみ子 代表

「おはなしころりん」はPTAや卒業生の親など二十人近くで構成されています。読書祭りでは、テーマを毎年考えます。昨年は日本や世界の昔話をテーマにして、宮崎弁で「わらしべ長者」を読みました。準備は四月から始め、大型絵本からくり絵本や布の絵本を自分で作ります。視覚だけでなく、効果音を入れるなど、子どもたちが絵本に聞き入る工夫をします。また読み手は、子どもたちの反応を見ながら演じるように読むように心がけています。

ボランティアの皆さんの気持ちを受け取り、絵本の世界に入り込む子どもたちの姿から「誰かに本を読んでもらう心地よさ」を感じることができました。

小中学校連携の取り組み

次に紹介するのは、中学生による小学生への読み聞かせの活動です。

十二月十一日、高鍋西中学校二年生が高鍋西小学校を訪れ、一年生から六年生までの全クラスに、班別に分かれて読み聞かせを行いました。これは小中連携事業の取り組みとして平成二十年から行われており、今年で五回目となります。

中学生は、自分たちが幼い頃に読んでいた絵本を自宅から持ってきたり、読む相手の年齢に応じた絵本を図書室で選んで、読み聞かせの練習を行いました。また、手づくりの紙芝居を作ったり、声の出し方を変えるなど、グループごとに工夫を凝らしたようです。



小学生の感想

○私も中学生になったら、お兄さんお姉さんのように上手に読み聞かせがしたい。(小学校2年生)

○声の大きさを変えたり、数人で交互に読んで読んで、聞きやすくおもしろかった。(小学校3年生)

○本の内容が皆に分かってもらえるような読み聞かせができるよう、頑張りたい。(小学校5年生)

高鍋西中学校の北原幸子教諭は「音声言語の表現力を身につけるために授業の一環として取り組んでいます。言葉で伝える、声に出すということが苦手な子どもが多くなってきたと感じます。上手になくてもよいので相手に大きな声で伝える、ということを通して欲しいです。読み聞かせを行なった後、生徒からは『楽しかった。もっとこうしてあげればよかった』という感想があり、表現する喜びや工夫に気がつきかけた」と話しました。

小学生のために絵本を準備し、読み聞かせの練習を積んだ中学生からは「誰かのために心を込めて読む」という姿勢が見受けられます。また「読んであげる」のではなく「一緒に読んで楽しむ」ことが大切であることが伺えます。

一方、読み聞かせをしてもなかった小学生の感想には次のようなものがありました。



高鍋西中学校2年古江 美紗さん

中学生が伝えたかったこと、工夫した点などが聞き手の小学生にはその姿を通して伝わっており、自分たちが中学生になったら、また次につなげていこうという気持ち芽生えるきっかけになったようです。

自分が小学生のころに、中学生に読み聞かせしてもらった記憶があり、今度は自分が読み聞かせをする番になったんだなと思えました。

絵本との出会い

子どもと温かい触れ合いのできる「絵本」。高鍋町健康づくりセンターには多くの絵本が揃えられ、健診時などに、お母さんたちが利用しています。



お気に入りの「くだもの」の絵本。お母さんの手から果物をパクッ!

この絵本の多くは、国際ソロプチミスト高鍋文庫として備えてあるもので、毎年、新しい絵本が増えてきています。今年



寄贈文庫の書籍数は合計269冊となった。希望者には2週間(1人2冊まで)の貸し出しができる

も九回目となる寄贈が十二月四日にありました。

その中の一冊を手に取り、子どもに絵本を読むお母さんに出会いました。お母さんが絵本を開くと、駆け寄り膝に乗る息子さん。お母さんは「健康づくりセンターや図書館でよく絵本を借りています。また三人のお姉ちゃんの話が、この子にとっては読み聞かせになっっている時間もありますよ」と笑顔で話してくれました。

普段の生活の中の何気ない一コマですが、この息子さんには、お母さんやお姉さんたちが本を読んでくれた温かい記憶が残っているのではないのでしょうか。



【取材を終えて】

取材を通して「読み聞かせ」には「読書」とは違った良さがあるということが改めて分かりました。

「読み聞かせ」は間に人を介することで、相手とのつながりができます。そのつながりは、親と子、先生と生徒、子ども同士などさまざまな形があります。読み手の「この子のために本を読んであげたい」という思いが聞き手に伝わり「自分のために読んでくれた」と感じることで人の温かさを知ります。その温もりは子どもたちに落ち着きを与え、情緒が安定する手助けとなります。

このような読み聞かせの時間は、心の交流を図るコミュニケーションの場となり、子どもたちの記憶に残っていくものであると思います。

人の温かさが伝わり、人とながっていくことを知った子どもたちの心は大きく育っていきまします。「読み聞かせ」の良さをもう一度見直し、地域全体で子どもの心を育てていきたいと思います。

納税について考える

私たちが無意識のうちに受けている公共サービス。そのサービスを行う行政運営には税金が使われています。今回は納税の重要性や必要性について考えてみたいと思います。

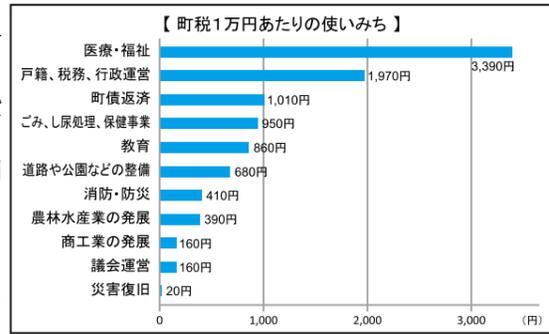
高鍋町の歳入で、町税の占める割合は4分の1以上あります。歳入の中には、その使い道が特定されているものがありますが、町税は町が皆さんの声を反映させながら自主的に使うことができる財産であり、行政運営を行っていくうえで、重要な役割を担っています。

町税1万円あたりの使いみちを、平成23年度決算額の項目別割合をもとに換算すると右のグラフのようになります。

町民の皆さんが安心して快適な生活が送られるよう、福祉・健康、教育、上下水道、道路・公園の整備など生活のあらゆる分野において、公共サービスを支える重要な財源として町税が生かされています。

町税の滞納は、町の財政を圧迫し、上記のような公共サービスに支障をきたすことになりかねません。また、納期限内に税金をきちんと納めている大多数の皆さんとの公平性を欠くこととなります。

そのため、町では収入や財産があるのに納税しない悪質な滞納者に対して、厳しく対応し滞納の解消に努めています。



税を滞納すると…

督促状発送

納期限を1日でも遅れると滞納であり、督促状は納期限から20日以内に発せられる。

延滞金

本来の税額のほかに、年14.6%(納期限の翌日から一月を経過する日までの期間は年7.3%)の割合の延滞金がかかる。

督促状発送から10日を経過した日までに税金の完納がない場合

差し押さえ(滞納処分)

地方税法に基づき、町は滞納者の財産(給与・預金・生命保険・自動車・不動産・動産など)の差し押さえを行う。

- 勤務先や金融機関に対して、給与額や預金残高等の調査を実施し、債権等を差し押さえる
- 自動車を差し押さえ、使用させない措置として、タイヤロックを実施する
- 家宅捜索を実施し、貴金属や家電品などの動産を差し押さえる

インターネット公売、窓口公売(期間入札)、公売会

差し押さえた不動産・動産などの財産を「入札」「せり売り」などによって売却し、滞納町税への充当を行うものです。一定の条件を満たす方はどなたでも参加できます。



役場内で行われている窓口公売(期間入札)



11月に行われた公売会

滞納が発生すると、督促状や催告状などの郵送料や財産調査手数料など、本来不必要な経費が生じることになり、町全体にとっても良いことではありません。

～税務課収納係からのお知らせ～

●滞納は放置せず、事情のある方は必ず納付相談を！

病気や失業、事業の廃止など、やむを得ない理由で一時的に税金を納期限内に納めることが困難な方は、納期限内にご相談ください。生活状況などを聞き取ったうえで、徴収の猶予などを行うことができます。ただし、虚偽の申し出や納付計画を守らずに不履行になった場合は、滞納処分を行うことがあります。

また、滞納だけでなく借金返済も解決する事例もありますので、消費者金融等の返済でお困りの方もご相談ください。

【事例】

納税相談の中で、多重債務であることを聞き取り、無料法律相談に案内したところ、400万円以上の過払い金があることが発覚。弁護士を通して過払い金返還請求を行い、滞納税額約350万円を完納し、その他借金も完納できた。

●納付について

町税の納め忘れのないよう、自動的に納期限日に指定口座から町税が引き落とされる口座振替のご利用をお勧めします。また、コンビニエンスストアでは休日、夜間を問わずいつでも納付できます。

なお、保育料や介護保険料等についても、滞納すると税と同様に滞納処分を行いますので、納期限内納付をお願いします。



◆収納に関するお問い合わせ◆
税務課収納係(☎26-2012)

※公売についての詳細情報は、高鍋町ホームページ(<http://www.town.takanabe.miyazaki.jp/>)からもご覧になれます。

災害時に備える

いつ起こるか分からない火事や災害。器具等の点検や整備を万全にし、平常時から訓練を行って有事に備えます。



○機庫整備・点検活動

消防団各部隊は、定期的に機庫内外の清掃、消防車や備品の点検整備などを行います。

年間を通じて機庫整備の優秀な部隊が、新春の消防始式で表彰されます。

○水利点検活動

水利(消防水利)とは、消火活動を行う際に使用する消火栓・防火水槽・井戸などの施設のことです。消防団各部隊は、定期的に管轄内の水利を点検し、水がきちんと出るか、消火栓に故障はないかなどを確認します。また、火災発生時を想定して水利の位置などを確認します。



○各種訓練

消火の基本的な操作習得のための操法訓練や、町が行う総合防災訓練への参加協力などを行い、技術の向上に努めます。



総合防災訓練で「積み土嚢工」を行う消防団員

※積み土嚢工：洪水によって水が堤防を越えてくることを防ぐため、土嚢を積み、間に土や砂を詰め、上から杭などで固定する工法

防火・防災に関する普及・啓発

○消火訓練指導など



各地区や自主防災組織などで行われる消火訓練での補助、指導を行います。また、消火器の使用方法などの指導も行います。

○年末年始特別夜警活動



空気が乾燥するうえ、火を使用することが多いこの時期に、町内全域で火災予防特別警戒を行います。

厳しい寒さの中、今でも拍子木を打ちながら歩いて警戒を行っている部もあります。

現在、高鍋町消防団には258名の団員が所属しています。団員は各自の仕事を持ちながら、平常時・災害時を問わず、消防団活動に従事しています。

消防団の皆さんのおかげで、町民は安心して生活ができています。本当にありがとうございます。

高鍋町消防団では、団員を随時募集しています。
◆お問い合わせ◆総務課 生活安全係(☎26-2001)

おめでとうございます



高鍋町消防団長 坂元 厳男 さん

「今回の受章は、一緒に活動した多くの消防団員のおかげであり、高鍋町消防団の代表として頂いたと思っています。常に、団員の安全確保を念頭に置き、住民への奉仕の心で職務にあたっています。消防団と地域住民とのつながりを大切にして、皆さんの信頼に応えられるよう活動していきたいと思っております」と話してくれました。

各種活動

新春行事の一つになっている消防始式や、日ごろの訓練で培った消防操法技術を競う操法大会などが行われます。

消防団員有志で編成されるラップ隊は、消防団行事での演奏を担っているほか、各イベント等でも演奏を披露し、場の雰囲気を盛り上げます。



成人式(1月5日)で演奏を披露するラップ隊

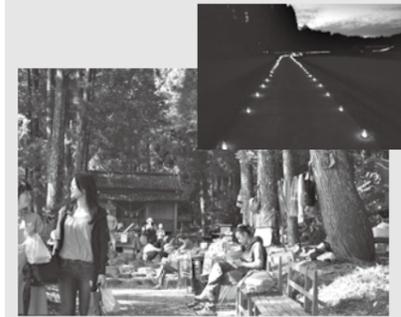
「自分たちの町は自分たちで守る」消防団活動

人が集う四季彩のむら ~この1年とこれから~



「四季彩のむら」は、高鍋温泉や高鍋湿原を含む、周辺一帯の総称です。訪れる方に安らぎの場を提供するための公園や遊歩道の整備、棚田の補修などの事業が完了し、昨年さまざまなイベントが行われ、多くの人を訪れました。

10月13日 アートフェスティバル2012



「屋は川上神社前で「彩りクラフト市」が開催され、雑貨屋などが立ち並び、多くの若者が集まりました。日が暮れて少しひんやりしてきたむらにはキャンドルの灯りとともに、「彩りライブ」が行われ、三味線やジャズの音色が響きました。

7月1日 むらコン



独身男女が集まり、初夏の風を愛しながらむらで田植え体験をしました。その後は高鍋温泉で汗を流し、交流会で親睦を深めました。前日には、雲田気を盛り上げるべくボランティアによりハート型の田んぼアートが作られました。

10月14日 稲刈り体験



町内外から集まった親子が、稲刈り体験をしました。一緒にカマを持ち、親子で作業する楽しさを味わっているようでした。刈り取った稲は昔ながらに掛け干しされ、むらは一気に秋の景色になりました。

11月23日 めいりん公園収穫祭 高鍋温泉お客様感謝祭



高鍋温泉お客様感謝祭では「四季彩のむら音頭」も披露された

四季彩のむらの中にある「めいりん公園」で、今回で十回目となる収穫祭が行われました。五月に町民参加で植え付けをしたサツマイモを含む六種類の農作物を、袋が破れるほどに収穫した参加者は、満足そうな笑顔を覗かせていました。また、会場では米粉を使ったパンや町内産のお茶がふるまわれました。同日、高鍋温泉ではお客様感謝祭が行われ、お買物お楽しみ抽選会や盆踊りなどのイベントが行われました。



5月の植付作業

昨年、新しい試みを始めた「四季彩のむら」。これらの試みが定着し、町の活性化につながっていくためには、今後の活動が重要になります。四季彩のむら村長の坂本幸さんは「この自然を生かし工夫しながら、町職員の方々や周りの人々と協力して、むらを盛り上げていきたいです」と話してくれました。町民みんなで、この美しい資源を大切に、「むら」をそして「町」を盛り上げていきましょう。

11月25日 たかなべ彩りリレーマラソン



晩秋の四季彩のむらの中をランナーたちが駆け巡りました。町内外から三十六チーム（二百三十人）のランナーが集まり、四二・一九五キロを各チーム四〜十人でリレーしました。会場では「まちなか元気市」も開催され、大いに盛り上がりました。

《姉妹都市交流》 「鷹山塾」に参加

十一月十七日、上杉鷹山公の改革の地・米沢市で、まちづくりの勉強をすることを目的とした「鷹山塾」が行われ、高鍋町から町職員二人が参加しました。

同月上旬には、米沢市職員が来町し、町内で交流や学習活動を行いました。今年のテーマは「若者によるまちづくり」。参加した大森さんは「若者の視点を活かしてまちづくりに参加してもらおう、そのきっかけづくりが行政の重要な役割であると感じました」、長田さんは「米沢で活躍している若者の活動などを聞くことで、まちづくりにへの積極的な参加を意識する機会になりました」と話しました。この参加が、今後のまちづくりへ活かされる貴重な経験となったようです。

米沢市職員(中央2人)と交流活動を行った政策推進課の大森さん(最右)と産業振興課の長田さん(最左)



まちな話

◎真冬のサーフィンツアー

十二月二十六日から三日間、「ウインターサーフィンツアー in 高鍋」が行われ、東日本大震災の被災地から二十三人の親子が高鍋を訪れました。これは、宮崎県を襲った一連の災害時に、全国の皆さんから受けた支援に感謝する県の「みやざき感謝プロジェクト」の一環です。参加者は、観光やサーフィンを満喫しながら、被災時の状況や、現在の仮設住宅での生活の様子などを話してくれました。今後の一日も早い復興を願わずにはいられません。



「地元は雪が降っているのに、この時期のバーベキューは考えられない!」と外での昼食を楽しんだ参加者

◎九十年の歴史

県立高鍋高等学校が今年で創立九十周年を迎え、十一月十七日に同校体育館で記念式典が行われました。在校生と多くの来賓が出席する中、式典の最後は、旧制高鍋中学校、旧制高鍋高等学校、高鍋高等学校の校歌斉唱がありました。式典の後、演奏会や特別講演会も行われました。



式典冒頭では、「高鍋高校創設までのあゆみ」のDVDも上映された

◎大行列の高鍋

十一月十八日、ルピナスパークで総勢十軍が参加しました。県立農業大学校軍の「農大ポークみそ鍋」が一位、高鍋軍の「カキとえびワンタン」の鯉(はも)ーニ鍋が二位となり、高鍋勢でワンツーフィニッシュを決めました。



勢ぞろいした鍋将軍たち。当日は多くの来場者があり、どの軍も行列ができた

◎高鍋く都農間、開通!

十二月二十二日に、東九州自動車道・高鍋インターチェンジから都農インターチェンジまでの間(延長十二・九キロ)が開通しました。この区間では、三月三十一日まで「早期開通割引」が実施されています。【例*普通自動車:二五〇円】安全運転を心がけましょう。



◎片岡鶴太郎展、大盛況!

十月二十七日から十一月二十五日まで、高鍋町美術館で「片岡鶴太郎展 精霊椿」が開催されました。期間中の入館者数は、およそ一万人となり、多くの方が片岡さんの作品を鑑賞しました。十一月三日にはトーク・サイン会が行われ、片岡さんに墨と筆で丁寧なサインをしてもらった来場者は感激した様子でした。



NHK宮崎放送局制作 プレミアムドラマ「命のあしあと」
口蹄疫からの復興を題材にしたドラマです。
◎放送予定◎
平成25年1月27日(日)
午後10時~
NHK BSプレミアムで全国放送
11月に県内各所でドラマのロケが行われた

fresh!! 高鍋
毎週金曜日 12:30-12:55 O.A!!
エフエム宮崎制作による高鍋町のラジオ広報番組です。
高鍋町の魅力を元気に発信しています!
ぜひお聞きください!

せいぼサークル ご案内
毎週 木曜日 10時から(子育て支援)
親子で、園庭や教室でいっしょに遊びませんか。
子育てで悩んでいる方の育児相談(無料)をしております。
満2歳より就学前のお子様をお預かりいたします。
保育時間 7:30~18:00
(毎日午前中、園庭を解放しています。)
高鍋カトリック聖母幼稚園
場所 ジョイアス横 電話 23-1500

※この欄は広告です。お問い合わせは、広告主へ。

社会福祉法人春光会
特別養護老人ホーム 望み苑
ショートステイ
平成25年 夏 オープン!!
〒884-0003 高鍋町大字南高鍋字水谷原9118-1 (水谷原公民館隣地)
入居予約受付中
お問合せは「望み苑」開設準備室まで
☎0985-50-3167 担当 宮路静恵 上川博邦

※この欄は広告です。お問い合わせは、広告主へ。

わが町の宝物

このコーナーは、9・10カ月児健診に来たお子さんを紹介しています。
今回は、11月・12月の健診に来た元気なちびっこたちです！

みんな元気に育ってね。



すぎた らいせい
杉田 來聖 ちゃん



かくだ れい
角田 輝心 ちゃん



たかだ まな
高田 真奈 ちゃん



ほんぶ かいじ
本部 海司 ちゃん



たなか ちひろ
田中 千博 ちゃん



やまぐち ももか
山口 桃佳 ちゃん



ながとも かなみ
長友 花奈美ちゃん



こんどう らん
近藤 蘭 ちゃん



みやうち あつし
宮内 睦 ちゃん



おがた あん
緒方 杏 ちゃん



うじばし ぼのか
宇治橋頼乃華ちゃん



まつだ りな
松田 莉奈 ちゃん



まつうら ゆり
松浦 結愛 ちゃん



みやごえ ことこ
宮越 琴子 ちゃん



はら ひろとち
原 廣知 ちゃん



むらい さとる
村井 惺 ちゃん



こばた ことね
小畑 心翔音ちゃん



かわかみ
河上 るか ちゃん



うち あゆみ
内 由美ちゃん



もり たいき
森 大樹 ちゃん



はやし さくら
林 咲良 ちゃん



ひらね さなり
平峰 紗奈莉ちゃん



さかもと はる
坂本 晴 ちゃん



まえむら うみ
前村 優海 ちゃん



もり だいや
森 奈維也ちゃん



まつおか るな
松岡 瑠奈 ちゃん



えさき りこ
江崎 莉来 ちゃん



ふかみ りこ
深見 莉子 ちゃん



たなか るな
田中 瑠奈 ちゃん



たけだ こうのすけ
武田 昂乃輔ちゃん



ひょうどう たかのり
兵藤 貴紀 ちゃん



たなか ひな
田中 陽渚 ちゃん



さいつ ほるか
財津 遥 ちゃん



うちやま あやの
内山 彩乃 ちゃん



くろいわ ゆうか
黒岩 侑香 ちゃん



かわの りゅうせい
河野 龍誠 ちゃん



かわかみ れいら
川上 麗蘭 ちゃん



かい あやめ
甲斐 彩芽 ちゃん



むらかみ ほるか
村上 晴香 ちゃん



TAKANABE TOWN

広報たかなべ 2013. 1. 18 NO. 380

編集・発行／宮崎県高鍋町
〒884 - 8655 宮崎県児湯郡高鍋町大字上江8437
政策推進課／☎0983 - 26 - 2003

<http://www.town.takanabe.miyazaki.jp>

※「広報たかなべ」は町ホームページでもご覧になれます。

人口と世帯数(1月1日現在・前月比)

人口	21,669人	(+ 3)
男性	10,258人	(+ 4)
女性	11,411人	(- 1)
世帯数	8,805世帯	(± 0)